

# REPORTS

English language & cultural seminar in Canada.

[University of Alberta]

## カナダ・アルバータ大学語学研修レポート

去る8月5日(金)～8月25日(木)までの21日間にわたり、看護福祉学部6名、心理科学部3名、計9名の学生と教員2名が、カナダ・アルバータ大学の語学研修に参加しました。研修を体験してきた学生たちの研修レポートをお届けします。



### 「忘れられない出会い」

●看護福祉学部 看護学科 2年 青木 栄里香

私は、アルバータ語学研修を通して数多くのことを学びました。初めて海外に行った私にとっては、全てが新しい発見の毎日でした。バスなど身近なところでも日本との違いがあり、降り方が分からず困ったりもりましたが今となっては全てが良い思い出です。カナダに住んでいる人たちはみんなすぐおおらかで、バスで座席の譲り合いや困っている人に対して声をかけてあげるなど、優しい人たちがたくさんいました。私が道に迷って困っている時も助けてくれたりと、心の広さに感激しました。そんな中で過ごした3週間は、私にとってはとても短い期間でした。特に、ホストファミリーとの出会いは私にとっての大切な思い出です。またにも英語を話さなくてもだんだんお互いの気持ちは通じるようになってきて、本当の家族が出来たようでした。日本に帰ってきた今でも、ホストファミリーとはメールやFacebookを通して連絡をとっています。また、カナダには色々な国の人が住んでいるのでカナダ人以外の友達もたくさん出来ました。この語学研修を通して、もっと英語の勉強をしたと思うようになりました。またカナダにも行こうと思っています。私にとってこの3週間は一生忘れる事のない思い出であり、自分の成長にも繋がる大切な時間となりました。

### 「貴重な3週間」

●看護福祉学部 看護学科 2年 青木 奈那子

カナダでの3週間は、自分にとって一生忘れられない経験となりました。カナダへ行くまでの間私事でとても忙しく、準備が進められるか不安でしたが、この機会を逃したら次にいつ行けるかわからないと思ったので、とても悩んだ結果行くことを決意しました。今考えて、本当に行って良かったと思います!

とてもレベルの高いクラスに入ってしまい、先生の言っていること、クラスメートが話していることが聞き取れないという事態が起こり、宿題も多く、ほぼ毎日午前8時から12時まで授業、午後からアクティビティ、帰って宿題という日々で、あまり寝れない日もありました。しかし、段々聞き取れるようになっていくなりに来ていくを実感することができ、英語を勉強するのが楽しくなりました。カナディアンと出会えるのはもちろん、ロシア、韓国、中国、サウジアラビア、トルコなど様々な国の人と友達になることができ、私たちと同じように大学のプログラムで来ている、千葉大や新潟大、静岡大など日本人の友達もたくさん出来ました!帰ってきてからもその友達とは連絡を取っています。今よりも話せるようになって、いつかまたカナダへ行きたいです!!

### 「カナダで学んだ経験と思い出」

●看護福祉学部 看護学科 2年 石川 ちひろ

私は今回のアルバータ研修に参加できて本当によかったと思っています。それはカナダの文化や街や人に触れ、多くのことを経験し多くのことを学ぶことができたからです。

道に迷うと声をかけてくれたり、バスで隣にただで気軽に話しかけてくれたりカナダの人たちの心の温かさがとても感じられました。またカナダの看護師さんと対談させてもらう機会があり、日本とカナダの看護や医療の違いについて話したり、お互いの国の医療がこれからも発展するようにどうすればいいのか意見を交換したりもしました。このような経験はこの研修に参加しないといけないことだと思います。そして一番思い出に残っているのはBanffで過ごした3日間です。カナダの大自然に触れ自然のエネルギーを肌で感じる事ができました。エメラルドグリーンに輝いたルイーズ湖は本当にきれいで感動しました。

時には自分の話したいことがうまく伝わらなくどうすればいいのか考えさせられることもありましたが、互いを理解しようとしてくれたり、一緒に研修に参加したメンバーや先生に支えられ伝えることができ、コミュニケーションをとることの大切さについて違う角度から学ぶことができました。

この3週間の思い出と経験は私にとって宝物です。いつか絶対にまたカナダに行って今回は学べなかったことをもっと学んでいきたいです。

### 「カナダでの貴重な時間」

●心理科学部 臨床心理学科 3年 西塚 拓海

カナダでは日本では感じることのできない、数々の経験をすることができました。向こうでの授業は、英語圏の大学に入学するための授業プログラムに参加しました。求められることや、Homeworkも私にとっても大変なものでした。向こうの大学は、5時間授業を行ったらHomeworkも毎日5時間分の課題が出るのが通常。さらに、私のクラスは長期で留学している人が半数以上で、私は聞くことも話すこともできず、最初は授業についていくこともままならない状況でした。しかしそんな中で得たことも多くあり、最後はさらに学びたいと思うようになりました。

毎日のActivityではカナダの歴史、医療、福祉について学んだり、Outdoorをしたりとても充実した毎日でした。特にカナダの医療制度は驚きでした。カナダではほとんどの医療費は無料で、治療はどのくらいの費用がかかるかではなく、その人にとってどの程度治療を受ける必要があるかによって治療の順番などが決まるというもので、施設など日本では考えられないほど充実した医療がそこにはありました。

ActivityやRocky Tripなど、HSUHメンバーと一緒にとても楽しく、会話や笑いが絶えない毎日はカナダでの生活を本当に素敵なものにしてくれ、また、向こうで出逢ったHostfamilyやClassmateをはじめとする多くの人には感謝しています。また、機会を見つけて絶対にカナダに戻りたいと思います。留学は自分の考え方や世界観に多くのよい刺激を得るとてもよいものでした。

### 「カナダを通しての出会い」

●心理科学部 臨床心理学科 3年 三谷 亜季

今回のカナダ語学研修では多くの経験をし、参加する決断をして本当に良かったと思っています。様々な国から移住してきている人も含むカナディアンとの交流、広大な自然、医療など語学勉強と同時に多くのアクティビティを通しカナダを知ることができました。

語学勉強は、アルバータ大学で様々な国から集まっているクラスでした。授業はSpeaking、Listening中心に進み、自分の伝えたいことがあっても思うように伝えられず、戸惑いました。さらに、大学での語学コースは今年からプログラムが変わり昨年度と大きく異なり、私たちが行った時期も後半であったため、クラスについていくのに辛い思いもしました。しかし、他国の人たちとの関わりはかけがえのないとても良い経験になりました。片言であっても一生懸命に伝えようとし、聞く側も理解しようとして真剣に聞いてくれました。ディベートを通しカナダだけではなく中国、韓国、ナイジェリアなど国ごとの文化、考え、気質などの違いについて、直接触れ、学ぶことができ、とても面白く楽しい経験ができたことも事実です。

アクティビティでも、様々な自然や施設に訪れ、日本では考えたことのない、見たことのない、体験したことのないばかりで毎日が充実しており、得ることがたくさんありました。大変な思いもしましたが、帰ってきて思うことは行って本当に良かったという思い一つです。今回の経験を次の機会にぜひ活かしたいと思っています。

